

城南信用金庫さんを 応援します！

私達の町の私鉄駅前通りに、城南信用金庫があります。3月11日の大震災とそれに続く原発事故の衝撃で、まだ町も人も沈んでいた4月1日、その信金の外壁面に大きなパネルが掲げられました。

《原発に頼らない安心できる社会へ》とのタイトルで、《①福島原発事故を通して、原子力エネルギーは明るい未来を与えるものではなく、一歩間違えば取り返しのつかない危険性を持っていることが明確になった。②城南信金は、地域金融機関として、今後は省電力・省エネルギー・代替エネルギーの開発利用の取り組み等を地域の中で積極的に支援し、貢献していきたい》との趣旨のメッセージでした。これは、城南信金のホームページと朝日新聞を初めとするメディアの報道で、たちまち話題になりました。感動して、メガバンクから城南信金へ預金を移したり、年金の口座を城南信金に替えたりした人が多かったそうです。実は、筆者もその一人です。あれから8か月一。

月刊誌『世界』(岩波書店)・11月号で、城南信用金庫理事長の吉原 毅さんは次のように語ってお

られます。

『政治家や経産省、東京電力の人々は“想定外”と責任逃れをはかり、“原発を停めるわけにはいかない”と言います。皆が声を上げなければ原発を停めることは出来ません。我々のような企業体もメッセージを発するべきだと思います。発言には戸惑いや心配もありましたが、黙って見過ごすことは出来ませんでした。発言後、インターネット上の反応は大変に好意的な声が多く、安堵すると同時に職員一同勇気が湧いてきました。皆さんから評価していただき、勇気を出して踏み出すことがいかに大切かを実感しています。』

筆者は、我が町の城南さんを訪問してみました。《原発に頼らない安心できる社会》を目指して職員の皆さん一丸となって取り組み、節電は前年比30%削減を達成、被災地へは職員さんが職務として交代でボランティアに参加、被災地の子供達を東京に招いたり、街頭募金に参加したり、実に心のこもった実践活動を展開しておられます。脱原発を正面から訴える企業が栄えれば、後に続く企業が増えるはずで、城南さんを皆で応援して、経済界を変えなければいけないと痛感しました。

《脱原発を実現し、自然エネルギー社会を求める全国1000万署名》

署名は2012. 2. 28まで。 呼びかけ人：大江健三郎・他8氏(問い合わせ先 Tel : 03 - 5289 - 8224)

脱原発・持続可能で平和な社会をめざして



●「頑張ろう！さようなら原発 1000 万署名」集会(仮称)

日時：12月10日(土)午後13:30~予定

場所：東京・日比谷公園・野外音楽堂

(詳しいことが決まり次第、随時お知らせいたします。)

●「さようなら原発 1000 万署名・アクション」集会(仮称)

日時：2月11日(土・休)※時間は各会場による

場所：東京・代々木公園イベント広場(B地区)とケヤキ広場など

●「さようなら原発 1000 万署名・報告」集会(仮称)

日時：3月24日(土)午後

場所：東京・日比谷公園・野外音楽堂

《脱原発を目指す女たちの会》・キックオフ集会

日時：11月23日(水・祝) ・ 開場・午後1時/開演・午後1時30分

会場：「座 高円寺2」(杉並区立杉並芸術会館内) J R中央線・高円寺駅北口徒歩5分

呼びかけ人：福島瑞穂・香山リカ・鎌仲ひとみ・雨宮処凛・上野千鶴子・羽田澄子・吉永小百合(賛同者)・他多数

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。

毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。